

## 平成 26 年度第 2 回公立大学法人滋賀県立大学経営協議会議事録

日時・場所：平成 26 年 9 月 1 日（月）13 時 30 分～15 時 20 分 評議会室

出席者：大田理事長、川口副理事長、菊池理事、仁連理事、布野理事、小出委員、  
横山委員、渡辺委員、村山委員、柳原委員

欠席者：なし

事務局：藤川事務局次長、高居総務グループ統括、三和田財務グループ統括、久保田  
経営企画グループ統括、水野学生・就職支援グループ統括、藤川教務グループ  
統括、村井地域連携推進グループ統括、玉井主任主事、中嶋主事

議事に先立ち、大田理事長より、今回の経営協議会から、報告は最小限にとどめ、できるだけ学外委員との意見交換を行いたい旨、発言があった。

### 【議 題】

#### （審議事項）

##### （1）平成 27 年度予算編成方針について

三和田財務グループ統括から、資料に基づき説明があった。

審議の結果、原案どおり承認された。

##### （2）学内規程等の改正について

高居総務グループ統括から、資料に基づき説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認され、役員会の承認が必要なものについては役員会に審議を委ねることとなった。

##### （3）配偶者同行休業制度の創設について

高居総務グループ統括から、資料に基づき説明があった。委員からは、過半数代表の意見をとりいれるよう配慮してほしい、授業に影響がないようにする必要がある等の意見があった。

審議の結果、原案どおり承認され、役員会に審議を委ねることとなった。

(報告事項)

(1) 平成 25 事業年度に係る業務の実績に関する評価結果等について

資料に基づき布野理事から報告があった。

(2) 地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）の進捗状況について

資料に基づき仁連理事から報告があった。

報告事項に基づいて、意見交換を行った。

(主な意見)

- ・例えば、工学部の学生は地域課題教育によって、どのような成長が見込まれるのか。全学部において地域課題への取組の成果が見込まれるようにしてほしい。
- ・大学 COC 事業によって、学生が実際にどう変われるかが課題である。イベント主義に陥らないようにしてほしい。
- ・公募型地域課題研究は企業にとって身近に感じにくい。企業にも取り組めるような内容にしてほしい。
- ・地域デザイン・カレッジによって、地域の活性化を期待する。
- ・高校生にとって他大学と本学の違いが分かりにくい。分かりやすく魅力を発信する必要がある。

(その他)

(1) 公立大学法人滋賀県立大学理事長選考会議の経過について

川口副理事長から報告があった。

(2) 経営協議会の委員構成について

資料に基づき久保田経営企画グループ統括から報告があった。

(資料配布)

(1) 平成 25 年度監事監査結果報告について

(2) 愛知・犬上両郡 4 町との連携・協力に関する協定の締結について

(3) 夏季節電対策に伴う電気使用量について

(4) オープンキャンパス 2014 の結果概要について